

# IoTによる飲食業、食品製造業等と市民との情報マッチング事業（概要）



## 背景

- 新型コロナの影響から飲食店は営業休止、時短等が求められ、営業継続と売上確保のためキッチンカーで事業を行うケースが増加。
- 一方で店舗側の情報発信不足や市民が出店情報を取得する方法がないことが課題となった。
- 店舗と市民を繋げるシステムのニーズがあり、実行委員会を設置し開発・運用を行った。

## 成果物

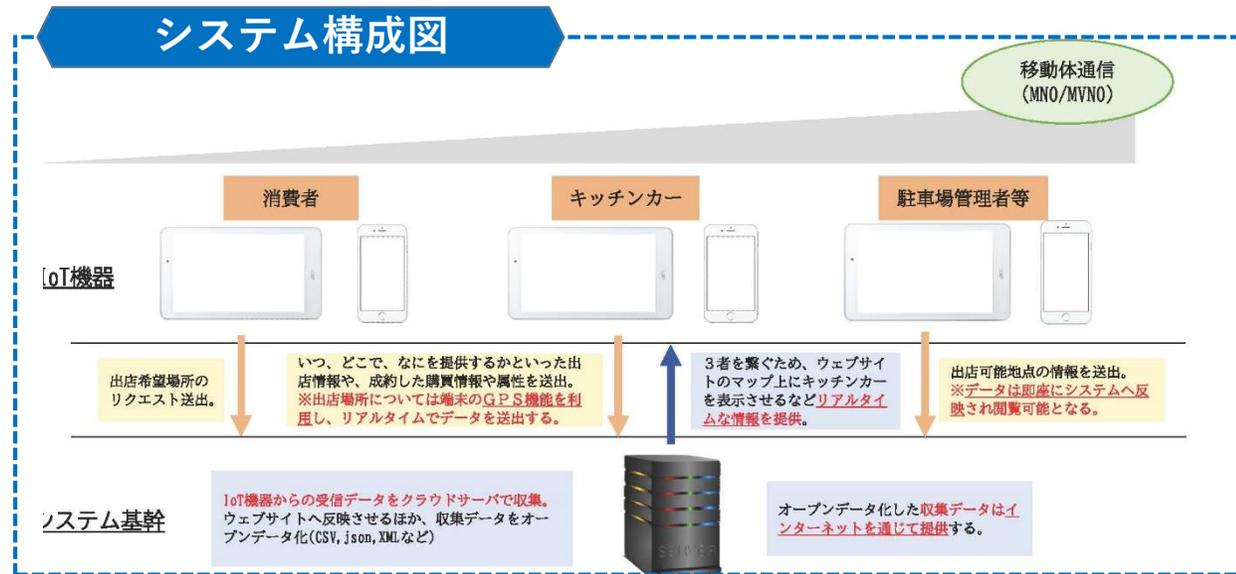
### ここキチ-Do (<https://foodt.jp>)

※店舗の「いつ・どこで・何を売るか」を一覧化したページを公開し、店舗の売上確保を支援。

## 実施結果

- 本システムは店舗側が10月上旬に登録・利用を開始し、市民側が11月中旬に利用開始した。
- 運営にあたり、市民の閲覧10万ビュー、登録企業100店舗の確保を目標としたが、市民閲覧数は45,518ビューで登録企業は37店舗であった。
- 今回取得したデータは、店舗基本情報（事業所名、店舗名、代表者名、電話番号、住所、メールアドレス）、店舗営業地点情報（緯度、経度、施設名）、システム利用状況（訪問者数、訪問者の性別・年齢層・アクセス時の市町村名）となっている。
- 店舗営業地点情報やシステム利用状況の分析結果については、オープンデータとし、データの利活用が進むようにする予定。

## システム構成図



### <店舗側入力画面>



### <市民閲覧画面 (マップ)>

